



名づける

米内山陽子
ver.1.000

登場人物

第一幕

響子 二二歳。主婦。

隆至 二九歳。整体師。

第二幕

響子 七二歳。占い師。

隆至 七九歳。主夫。

■ あらすじ

一軒家。古い。

夫婦はここを中古で買った。

三十五年のローンを組んで。

毎月それなりの返済をして。

夫婦は未来を夢見る。

夫婦には未来がある。

しかし夫婦には過去がある。

しかし過去も未来も頭の中にしかない。

■ 第一幕

引っ越し当日。

部屋にはあらかたの荷物は運び込まれ、引っ越し業者は家を辞したあと、冬である。

隆至は段ボールのひとつを開ける。

入っているのはがらくたのような、ゴミのようなもの。

隆至 響子ー。

階上か、別室から響子の声だけがする。

響子 (声) なにー

隆至 これ、ここでいい？

響子 (声) どれ

隆至
これ。

響子、顔だけ出す。

響子
その箱自分でやる。

隆至
あっそう。

響子
隆至くん自分の箱やってよ。

隆至
えー。はい。

響子
あとちよつとでキリがいいから

隆至
もう腰やばい。

響子
がんばれ。

響子、去る。

隆至、しびしび他の箱を開ける。

そこには、隆至の思い出が入っている。

手紙や、写真や、プレゼント。

隆至は一通の手紙を手にする。

拾い上げる手は迷わない。

くすんでいるが、きれいな色だった封筒から、揃いの便箋を取り出す。

隆至、手紙を読む。

響子、いつの間にかいる。

響子 なにやってんの。全然終わってないじゃん。

隆至 ごめんごめん

響子 わたしやるよ

隆至 あーちよっと

響子 なに

隆至 じぶんでやりますこれは

響子 なになに

隆至 秘密は夫婦関係のスパイスじゃない

響子 なにそれ

隆至 さわんないで欲しいなー

隆至 ごめん

響子 ネコ。

隆至 え？

響子 庭にネコがいた。

隆至 どこ

響子 もう行っちゃった。目があったらびっくりした顔してぴゃーって。

隆至 「誰だお前ら」って？

響子 前の人が餌あげたりしてたのかな

話しながらも、片付けを進めているふたり。

隆至 ネコ好き？

響子 好きだよ。知らなかったっけ

隆至 そういえば

響子 あのコ、うちの子になんないかな

隆至 飼うの？

響子 だめかな

隆至 一応、患者さんも来るからさ

響子 じゃあ餌付けする。庭だけで飼う。

隆至 いいんじゃない？ 賛成。

響子 猫と言えばニボシ？

隆至 カツオブシだろ

響子 両方ですか

隆至 猫の餌とか買えば

響子 それはもう飼うってことでしょ

隆至 飼うのはダメだよ。ここをさ、癒しの空間にしたいんだよ。整体なんだけど、バリのエステ、みたいな。ウツディーな。

響子 バリのエステ行ったことあるの？

隆至 前にね

隆至、手紙の入った段ボールを気にする。

響子 ひとりで？

隆至 なんですか？

響子 隆至くんとバリのエステが結びつかない

隆至 整体仲間と行ったの。専門の、卒業旅行みたいな。

響子 エステ

隆至 エステ

隆至、手紙の入った段ボールに封をする。

隆至 他に上持ってくものある？

響子 うん、とりあえず

隆至 (相槌)

隆至、段ボールを持って去る。

響子は黙々と段ボールを開ける。

CDケースが出てくる。

響子 あ

響子は置いてあるデッキでCDをかける。

隆至が二階から顔を出す。

隆至 響子ー

響子 懐かしいな、これ、わたしが初めて買ったCDだ。

隆至 渋いの買ったね

響子 隆至くんも持ってたんだね。わたし自分の、どうしたっけかな？

隆至 止めてー

響子 え？

響子 どして

隆至 うん。ちよつと

響子はCDを止めない。

隆至が二階から下りてくる。CDを止める。

響子 どして？

隆至 なんか、まったりしちゃうわない？

響子 まあ

隆至 ちゃきちゃきやんないと。終わんないよ

響子 あ、じゃあこのアルバムにも確か元気なのが

隆至 たんす

響子 え？

隆至 たんす届くのいつだっけ？

響子 明日

隆至 じゃあ、響子の服はどうする

響子 どうするって

隆至 片付けられない

響子 ああ

隆至 てか、全部入らないよ。絶対に

響子 隆至くん大きいの買ってくれないから

隆至 身の丈にあった生活しよ。もうだいぶ背伸びしちゃってるんだから

響子 へいへい。じゃあ処分できる服選ぶから、そっちのCD選別して

隆至 え？

響子 そっちも入りきんないよ。取り込んで、処分できるCDは捨てるとか

隆至 うん

隆至は響子が入れたCDをケースにしまい、

処分する箱に入れる

隆至、響子の服をつまんで、広げる

いくつも広げる

響子 なにしてるの

隆至 少ない

響子 じゃあ捨てなくていい？

隆至 布が

響子 ん？

隆至 これも。これも。

響子 そう？

隆至 これなんか、背中が、ない

響子 あるよ

隆至 服として最低限の機能を持ってないじゃん

響子 かわいい

隆至 いやその前に。冷えるだろ体

響子 女のおしゃれはやせ我慢なんだよ

隆至 風邪引くだろ

響子 じゃあ暖めて

隆至、顔を背ける

響子 照れてる

隆至 引いてるの

隆至 特に女性は冷えが大敵なんだよ。体を冷やすことが万病の元。

響子 はあい

隆至 じゃあ、こっちに入れて

響子 やだ

隆至 どうして

響子 じゃあ今度からはこういう服、隆至くんと一緒の時だけにする。それならいい？

隆至 え

響子 冷えの解消にはならないけど

隆至 それなら、まあ、その

響子 聞こえない

隆至 じゃあ今度、上に重ね着する服買いに行こう

響子 やったあ。

響子 ほんとに思ったこと言えればいいのに

隆至 美学

響子 認めるなら一緒じゃん

隆至、服を処分する箱に入れようとする

響子はそれを止める

響子 嘘嘘嘘。わー、あったかい上着が欲しいナー

隆至 響子、本当に体が冷たい

響子 そう？

隆至 あったかいお茶入れようか

響子 うん

隆至、台所に引っ込む。

響子、処分する箱の中に手を伸ばす。

隆至が捨てたCDを取り出す

響子 捨てるの？

隆至 (声) 何？

響子 さっきのCD

隆至 (声) ああ。だって響子も持ってるんでしょ

響子 そうだけど。捨てちゃったかもしれないよ

隆至がお茶を持ってくる

隆至 はい、お茶。

響子 ありがとう（飲む）。はい、隆至くんの淹れるお茶はおいしいですなあ

隆至 これはね、黒豆茶。体を芯から温めてくれるんだよ

響子 ふーん

隆至 患者さんに出そうと思って

響子 いいんじゃない？ ね、わたしにも淹れ方教えて

隆至 ええ？ 淹れ方もなにもないんだけど……

響子 そしたらわたしがお茶番になって、隆至くんは治療に集中できるでしょ。

隆至 大丈夫だよ、そのくらいひとり

響子 だけどわたしもなにか手伝いたいの

隆至 うん、うれしいけど、大丈夫

響子 ええー。

隆至 俺はさ、響子が好きなことしてるのがいいよ

響子 ふーん、わかった。家事はちゃんとするよ

隆至 よろしく

響子 お腹すかない？

隆至 そういえば

響子 さつき、段ボールの中に餅見た気がするんだよね

隆至 餅い？

響子 磯辺にしてさ

隆至 いいな。海苔あんの？

響子 海苔はさつきしまったから、ある

隆至 ストープの上で焼かない？

響子 いいね、風流。

響子は台所へ

隆至はお茶をすすりながら、家の内部を見回す。

隆至 いい家だよな

響子 (声) だね

隆至 前の人が良かったんだよな。ちゃんと手入れしてて

響子 (声) すごいよね。おんなじにこの家、ちゃんとできるか不安

隆至 まあ、その辺は任せてよ。

隆至、寝っ転がる。

響子が台所から出てくる。

響子 なにしてるの

隆至 イメージトレーニング。診療室の。

響子 へえ

隆至 (ため息)

響子 なによ

隆至 ううん…… (ため息)

響子 なに？

隆至 いや、でっかい買い物だよなーと思って

響子 そうね

隆至 三五年ローンなんて組んじゃってさ

響子 なに辛気臭くなってるの

隆至 いや

響子 大丈夫大丈夫。三五年がんばりましょー

隆至 ポジティブ

響子 ポリシーですから

隆至 なに食ってんの。餅は？

響子 ない。さっき確かに見たんだけど。

隆至 なんて箱

響子 乾物

隆至 上に持ってっちゃったんじゃないの

響子 あー、そうかなあ

隆至 いや、それはないな、俺見てくるよ

響子 いいよ。どの箱かわかんないでしょ

隆至 乾物でしょ

響子 乾物

隆至 俺行くよ（行きかける）

響子 ねえ、もしかして、気づいてる？

隆至 ……なにに

響子 気づいてる？

隆至 もしかして、見たの？

響子 え？

隆至 え？

響子 見たってわたしが？

隆至 え？

響子 隆至くんが見たんでしょ

隆至 なにを？

響子 (置いてある鞆を渡す) なんでもない。餅さがしてくる

響子は二階へあがる

隆至 ちよ、ま…？

隆至は響子の鞆を見る。手前に持ってくる。

二階から響子の声。

響子 隆至さん

隆至 「さん」？

響子 夫婦にも秘密って必要かなあ

響子 ねえ

隆至 必要じゃ、ないかな

響子 「必要じゃ無い」？ 「必要じゃない？」？

隆至 うーん

響子 伴侶の秘密を知りたいと思うのは、いけないことでしょうか

隆至 秘密っていうほどの、秘密は

響子 夫婦関係のスパイス？ スパイシーな関係がお好み？

隆至 いや、どっちかというマイルド方向が

響子 わかりました

二階から段ボールを開ける音（聞こえなくてもいい）

隆至、二階に駆け上ろうとするが、止まる。

隆至は響子の鞆を開ける。中から妊娠八週目のエコー写真。

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

名づける（おためしサンプル）

2011年12月16日 初版発行

著 者 米内山陽子 © 2011年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-49-2903
